

**令和5年度
智頭町百人委員会
報告書**

令和6年3月22日

目次

ぐるぐる循環部会	
まちの資源循環事業	4
林業部会	
桜土手桜維持整備事業	10
木と友達になろう ツリークライミング	13
教育文化部会	
ライブラリーシアター	14
智頭の郷土料理を味わう	15
獣害対策部会	
森のやっかいものを地域資源に!!	16
特産農業部会	
智頭ルバーブを食卓に！～智頭の特産物ブランド化プロジェクト～	18

令和5年度 ぐるぐる循環部会 活動報告

【概要】

ぐるぐる循環部会は2022年から百人委員会に参画し、「ごみの排出量を減らすこと」、ごみを「資源」へと変えることを目標に、以下の3つの事業を柱に活動を行っています。

① ごみ資源化事業

生ごみの回収（飲食店等から生ごみの回収）、堆肥づくり（資材の収集（落ち葉・米糠・粃殻・壁土））、堆肥の活用（農家さんへヒアリング、試験利用のご依頼）

② 周知・啓蒙事業

「生ごみ」「堆肥」「循環」「サーキュラーエコノミー」をテーマにチラシの作成。少しずつ町民の方々の認知度を上げていく。

③ 視察・研修事業

生ごみ堆肥化の先進地域の視察や、堆肥・土づくりの講師の方を招き研修会。また、部会内で勉強会を開催。

【活動実績】

①. ごみ資源化事業

生ごみを減量・減容するための「床材」づくり、生ごみを数か月間保管しておくための「コンポスト」づくり、集めた生ごみを堆肥化するための「2次処理」のワークショップをそれぞれ開催し、堆肥を仕込みました。

床材や堆肥の仕込みには定期的に混ぜ返す「切り返し」と「温度管理」が必要なため、定期的集まり、部会員で管理をしていきました。

●落ち葉集め：3000L

豊乗寺、セラピーロード等の町内各所で堆肥づくりに使用する落ち葉を集めました。

ご家庭で出た落ち葉で、可燃ごみに捨てる予定だったものも収集することができ、未利用資源の活用につながりました。



●床材づくり：仕込み量 2,665L



●生ごみ収集：収集量 940L（最終収集日：2023年9月）

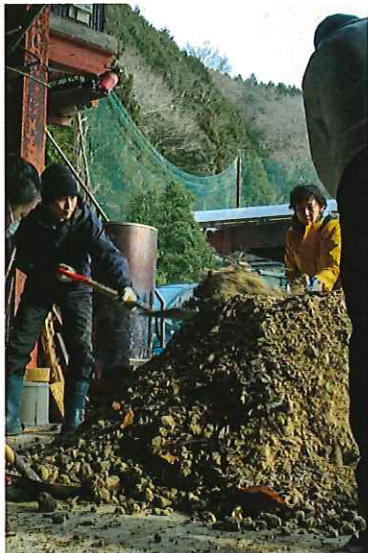
家庭用の生ごみ収集ケースを一緒に作り、使い方を説明しました。

ご協力頂いている家庭：33家庭（前年度より+20家庭）＋飲食店2件



●2次処理：仕込み量 2,628L（再発酵含む）

ワークショップ（9/2）参加者：21名



②. 周知・啓蒙事業

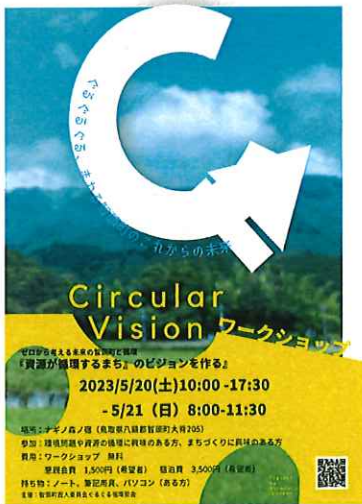
【出張コンポスト】・・・イベントで出てきた生ごみを収集しました。
桜cafe・ハイカラ市・かんがえ地蔵まつり・SDGsイベント（西粟倉）



【展示】・・・本部会の活動をパネル展示しました。
ちえの森ちづ図書館・智頭町総合センター・あわくら会館・ハイカラ市

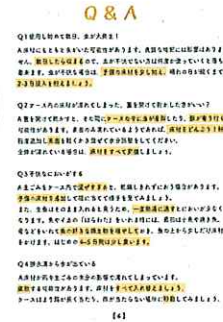


【ビジョン作成合宿】・・・今後の活動方針について考える合宿を開催しました。
5/20-21



【生ごみ収集ケースの仕様書作成】

「生ごみ収集ケースhow-toハンドブック」



【紹介動画作成】

公立鳥取環境大学の映像研究部の学生と、本部会の活動紹介動画を作成しました。



④. 視察・研修事業

研修事業ではワークショップを4回行いました。

視察では智頭で行っている堆肥作りの講師を務める東京・三鷹の鴨志田農園、くにたち農園の会、そして堆肥のブランディングと商品化、企業との連携を進めている熊本・南小国町の黒川温泉に視察に行きました。（別資料参照）



活動日時	ごみ 資源化 事業	周知 啓蒙 事業	視察 研修 事業	内容
2023/04/09	○	○		桜祭り出張コンポスト
2023/05/16	○		○	オンライン勉強会
2023/05/20		○		ビジョンワークショップ
2023/05/29	○			飲食店下打ち合わせ
2023/05/30	○			ナス、トマト、きゅうり、オクラ植え付け
2023/06/04	○			レタス、空心菜、ツルムラサキ植え付け
2023/06/05	○			ケースづくり
2023/06/08			○	嶋志田農園、くにたち農園の会 視察
2023/06/14				部会
2023/06/20	○			畑整備（支柱設置等）
2023/06/27	○			畑整備（鉄筋支柱）
2023/07/11	○			ケースづくり
2023/07/14				部会
2023/07/19	○			ケースづくり
2023/07/30	○			生ごみ堆肥再発酵（+切り返し5回）
2023/08/06	○			ケースづくり
2023/08/11				ピザパーティー
2023/08/17	○			ケースづくり
2023/08/26	○	○		かんがえ地蔵祭り
2023/09/02	○			2次処理 2回目（+切り返し5回）
2023/09/29				部会
2023/10/02		○		図書館展示準備
2023/10/03		○		図書館展示
2023/10/14	○			壁土収集
2023/10/15	○			床材仕込み（+切り返し 6回）
2023/10/20				部会
2023/10/27			○	黒川温泉視察
2023/11/05	○	○		ハイカラ市出張コンポスト
2023/11/09	○			楽之コンポスト開始
2023/11/13				部会
2023/11/16	○			ケースづくり
2023/11/19	○			落ち葉集め
2023/11/23	○			落ち葉集め
2023/11/23	○			ケースづくり

【来年度に向けて/今後の展望】

「目指すべき将来像を共有・認識し、町全体が一つとなる仕組みづくり」

智頭町のSDGs未来都市計画にもあるこの一文は、本部会にとっても重要な課題となります。ライフスタイルが変化し、「環境にいい暮らし」をしたい人も増えていく中で、智頭町としても良い場所は残しながら、時代に合わせて変化していく必要があります。

本部会の活動は、活動を始めて2年半が経ち、多くの方々のご協力もあり、出張コンポストや図書館・総合センターでの展示などの啓蒙事業を通し、住民への認知度も少しずつ高まってきました。今年度は、移住者だけでなく智頭町で育った方々からも生ごみ収集を進めることができたり、飲食店からの収集を始めることができたことも大きな一歩となりました。

これらの土台をもとに、次年度では「目指すべき将来像」を行政の方々と私たち町民が一体となって考え、資源が循環する暮らしの仕組みづくりに向けた活動を進めていきます。

林業部会

【はじめに】

林業部会は、昨年、一昨年に引き続き智頭町の桜土手の維持管理に取り組みました。令和5年度は、二年間で処理出来なかった中学校から智頭農林高校前の桜の剪定とたい肥施肥、危険度が高く回復が難しい木の伐採を行いました。約170本の桜を樹木医さんと個別に確認し施業を行いました。また、木と友達になろうツリークライミングは体験会を円滑に開催するために資格取得補助を行い、新たに5名のスタッフを養成し体験会を開催しました。

【活動概要】

実施日

令和5年11月25.26日（土、日） 悪天候予報の為中止

令和6年2月24、25日（土、日） 参加者 のべ27人

内容

- ・桜土手への堆肥散布と天狗巣病部の除去及び枯れ枝の除去
- ・損傷部への薬剤塗布
- ・高所作業差2台を使った本格的な剪定作業

期待される効果

- ・堆肥散布をする事による樹勢回復
- ・天狗巣病部の除去による桜の健全化
- ・枯れ枝除去による通行者の安全確保
- ・桜の健康を取り戻すことにより、桜の花付きが良くなり、観光スポットとしての

景観を

保全出来る。

- ・町民自身で桜土手を維持管理する意識の醸成に役立つ。
- ・伐採することで残った桜が葉を広げる空間が広がり樹勢の回復へつながる。

変わってきた桜土手の様子

- ・剪定をする事で新しい芽が出て、枝が若返り、花芽が増加
- ・管理の手が届かなかった箇所の枯れが進行し危険木が増加
- ・土手の内側から伸びる木の太木化

課題

- ・無償のボランティア作業では将来に限界がある
- ・参加者の半数は70代

林業部会

参加メンバー



伐採風景



薬剤塗布



作業全景



薬剤塗布



たい肥施肥



林業部会

樹木医活動

R5年11月 山本夫妻による発芽促進処理

R6年2月12日 桜の個体状況確認 資料作成

R6年2月24日 桜土手整備指導

R6年2月25日 桜土手整備指導

R6年3月 整備後状況確認

2月12日



2/24.25



林業部会

ツリークライミング

【活動概要】

実施日

資格取得講習会 令和5年8月31 9月1日 (木・金) 参加者5人

体験会 令和5年 10月28日 (土) 参加者 7人 森林公園

10月29日 (日) 参加者 10人 智頭小学校

内容

- ・木育・環境教育 木と友達になる
- ・天木森林公園セラピーロードを活用したイベントの開催
- ・ロープを使った安全な木登り体験を行う

期待される効果

- ・木育・環境教育 木を大切にできる心を得られる
- ・体験型観光メニューの充実
- ・将来の職業としての選択肢
- ・他の観光業との協業による相乗効果

今後へ向けて

- ・体験会の機会をより増やしたい
- ・スタッフが増えたことにより予定しやすくなった
- ・橋本の予定を事前に抑えて空けておく
- ・智頭図書館前の木で体験会を開催したい
- ・小学校での体験会はとても良かったので来年度も開催したい。
- ・来年度こそは智頭農林高校でやりたい



企画タイトル「ライブラリーシアター」

●主な活動

6月17日(土) 第1回「流浪の月」上映会開催。
上映時間：17:30~19:00。来場者数：約62名
原作が本屋大賞受賞作のため、図書館との関わりも強い。



7月22日(土) 第2回「マイスマーランド」上映会開催
上映時間：15:00~17:00。来場者数：約23名
高校生が主人公の映画。中高生もターゲットに。



8月5日(土) 第3回「アルプスの少女ハイジ」上映会開催。
上映時間：13:30~15:30。来場者数：約25名
夏休みの小中学生や家族連れもターゲットに。

11月18日(土) 第4回「ふたりの桃源郷」上映会開催。
上映時間：10:30~12:00、13:30~15:00。来場者数：約114名
大人や高齢者向けに、多くの来場者が見込まれたため、昼夜の2回上映。
ちづ図書館3周年の時期にも合わせて開催。

12月9日(土) 第5回「浦安魚市場のこと」上映会開催。
上映時間：13:00~15:00、アフタートーク：15:00~16:30
来場者数：約25名
映画監督も招待し、アフタートークも開催。
同じ映画を観て感想をシェアすることで、映画をただ観る以上に、
深く作品を知り、充実した企画に。



●全体を通して

延べ参加人数：約250名。うち半数以上が、図書館の利用頻度が月に1回未満。
90%以上の方が「大満足」「満足」と高評価をいただいた。

小説原作のもの、中高生向け、小中学生向け、大人・高齢者向け、そして監督をお呼びしてのアフタートークの開催。各回それぞれに、ターゲットや目的、新しい試みを入れて、より多くの町民の方に参加していただけるような方法は模索できたように思う。課題としては、若年層の参加者が少ないため、時間帯や作品を検討し、より幅広い層の方に映画に触れ、また図書館を訪れる機会を提供できたらと思う。

また「浦安魚市場のこと」の上映・アフタートークを通して、映画を通じた場づくり、ただ観るだけで終わらない映画の体験としての可能性と価値を感じ、より楽しんでもらうためにはそうした仕掛けも必要だと思っているので、来年度の試みとして、考えていきたい。

企画タイトル「智頭の郷土料理を味わう」

5月14日（日）13：30～15：00

於：ナギノ森ノ宿

●参加者…8名

◆ギボシの湯がき（定番料理）



◆ギボシとホタテのカルパッチョ



◆ギボシのパスタ



◆ギボシのかき揚げカレー風味



●内容報告

- ・当日は各地区敬老会の日程と重複したため、富沢コミュニティーセンター、総合センターが使えず、有料ではあるが「ナギノ森ノ宿」で実施。
- ・当初は地元の方に講師をお願いする予定であったが、委員側で調理。
- ・事前にリハーサル実施（5月7日（日）富沢コミュニティーセンター）。
- ・4品を調理。片付けも含め、時間内で終了。

●成果

- ・参加者は少なかったが、「ギボシ」という智頭の地域色の強い食材を味わっていたことができた。
- ・以前から親しんでいる委員も新しい食べ方を学んだ。

●課題

- ・時期物なので、開催日時の設定が難しい。今年は春先に暖かい日が多く、山菜の出も早かった。当初はもう少し遅い時期を想定していたが、かなり早めた。
- ・告知時間と方法を失敗し、参加者が少なかった。移住者ピンポイントで考えていたが、「要申込」をきちんとアピールして、在住者も含めて広く募集してもよかった。

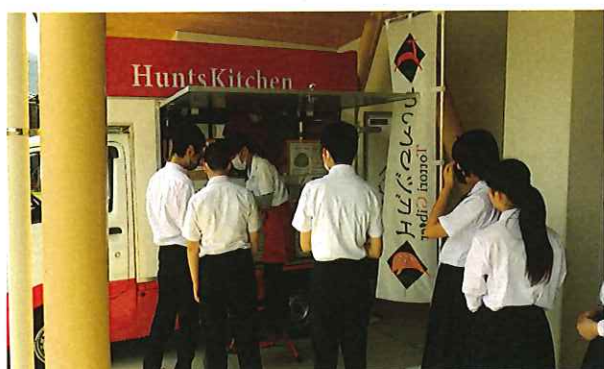
智頭町百人委員会 獣害対策部会

事業報告

【ちづNEXT 智頭中学校青空教室】

令和5年7月4日に昨年度に引き続き智頭中学校2年生に向けて智頭町に生息する鳥獣の生態や獣害被害対策の講義、有害鳥獣利活用に係る取組の紹介をした。

町内でジビエ料理キッチンカー「Hunts kitchen」を営む寺尾さんに講演いただき、鹿肉を使用したローストを試食し、ジビエを体験してもらった。



【解体処理施設 ちづ Deer's イノシシ・ニホンジカ搬入促進支援】

ニホンジカの搬入に対して1,000円、狩猟期(11月～2月)の雌イノシシに対して5,000円を狩猟者に交付し、ちづDeer'sへの搬入促進を図った。

(単位：頭)

年度	ニホンジカ	イノシシ(令和3年より)	合計
令和元年	437	0	437
令和2年	349	0	349
令和3年	273	1	274
令和4年	299	0	299
令和5年	327	9	336
合計	1,685	10	1,695

令和5年度の有害捕獲期間(3月1日～10月31日)は10月をピークに搬入頭数は昨年度と比較して増加傾向にあったが、年度を通しての捕獲頭数は伸び悩む結果となった。

智頭町の狩猟期での捕獲頭数は天候に左右されるため、有害捕獲期間の搬入頭数のさらなる向上を目指す。そのためには次年度より集落へのくくりわなの購入補助などをPRし、捕獲力の強化が必要である。

また令和3年度からスタートした狩猟期における雌イノシシの搬入支援の成果はR4年度は0頭となったが、令和5年度は9頭という結果となった。

【狩猟免許新規取得者支援】

狩猟免許新規取得者支援として、一人あたり5,000円の支援金をお渡ししている。

今年度は1名の方が支援金を活用することで狩猟免許(わな免許取得者：1名)を取得し、八頭郡猟友会智頭支部に入会したことで、猟友会会員の増員に繋げることができた。

【鹿革の利用】【ジビエイベント】

令和6年2月3日に開催された雪まつりと同時開催で、鹿革を使用したワークショップ(WS)と町民へのジビエPRでぼたん鍋、鹿肉の試食コーナーを設けた。

鹿革WSでは、鞣した革から来場者がキーホルダーを製作し、予定していた人数(25人)を超える30人の参加があった。また、聞き取り調査では、「鹿革のキーホルダーを何円なら購入するか?」といった質問に多くの方が「300円から500円なら購入を検討する」と回答があった。

ジビエの試食コーナーでは、料理がなくなるまで人が絶えず、たくさんの人に味わってもらうことが出来た。

結論として、鹿革を使用した商品の開発は価格が課題となることが想定されるので、次年度は商品化の是非を含めて検討していく必要がある。

ジビエのPRについては、次年度は料理講習など今年度とは違ったイベントを検討していきたい。



特産農業部会

【はじめに】

特産農業部会で栽培9年目を迎えたルバーブは、共同栽培や、部会員個々の畑での栽培の他、店舗での鉢植え栽培を行っている。

今年度はイベント参加やふるさと納税返礼品などによるジャム販売を行った。

(なお、昨年度からキクイモやショウガの加工や販路開拓を目指すグループも参加したが、子育てなどの状況もあり現在活動を休止中)

【活動概要】

1 ルバーブ栽培活動

苗鉢上げ、沖代圃場除草、栽培管理、令和6年度育苗播種

2 ジャム加工活動

5月25日、7月25日、10月6日、11月29日

3 販路開拓活動

○ルバーブジャム

【イベント出店】

・智頭の農市（鳥取中央郵便局） 10月13日

【その他】

- ・加藤産業(株)（大阪府、ジャムの提供）
- ・シェ・ベン（町内、ルバーブ、カシスの提供）
- ・観光協会、道の駅（若桜町）
- ・直売所（愛菜館など）

4 その他

・ふるさと納税返礼品として 23件

【まとめ】

本年度は、昨年度までに導入した被服類や衛生管理機器を活用し、衛生管理を徹底しながらジャム加工を行いました。

また、(株)食品微生物センターに委託し、加工販売を行っているルバーブジャム、カシスジャム、ミックスジャムのカロリー検査や食品細菌検査を行い、その結果、本年度も衛生管理が徹底されていることが確認されました。

来年度は企画提案は行いませんでしたが、衛生管理(HACCPハサップ)の推進、町内外での販路開拓等をすすめ、さらなる販路の拡大と智頭町の特産品としての認知度向上を目指します。

